

南あわじ市 平成 23 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(事業 委託 補助用)

基本事項

		整理番号	1177
事業名	幼稚園ウィーク活動事業	予算科目	会計 一般会計・1 款 教育費・10款 項 幼稚園費・4項 目 幼稚園費・1目
担当部課名	教育部 学校教育課		
電話	0799-37-3018		
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	人づくり_知恵あふれ_郷土愛が満ちるまちづくり__	
	まちづくりの目標	一人ひとりが明日を拓くリーダー【教育】	
	施策目標	子ども達や市民が、南あわじ市の未来を切り拓くための、多様な能力を身につける機会を提供する	
該当する事業について「 」を選択		施策的事業	業務委託 <input type="checkbox"/> 負担金補助 <input type="checkbox"/>

Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に)	
		地域一般住民	対象人数(人) 400
		意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 全国幼稚園ウィークは、全国国公立幼稚園長会が、子供たちの健やかな成長のため、幼児教育の重要性を社会に投げかけると共に、幼稚園教育活動・教育内容を地域に発信するため、全国規模で展開するキャンペーン。	
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 親子ふれあいフェスティバル・音楽祭 園児たちの楽器演奏や歌を披露、自衛隊音楽隊の生演奏を体験。 造形展 園教育の一端を紹介し、園児の素敵な感性や園生活と触れ合う場づくり。 各園での園開放 未就園児親子の受入、自由参観等の実施により地域の方の参画を得ての教育推進。	
	背景	(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など) 県においては平成16年度より実施。 当市においても平成17年度、幼稚園ウィークせいだんとして、217名(園児親子・未就園児親子・小学生)の参加者を得て、親子遊びを実施、盛会裏に終わる。 平成18年度より、一部経費の予算化を得て現在に至る。	
	事業実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 民間・その他 ()	
	事業期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし	
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から		

Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

事業に対する 目標の設定	指標名	事業回数					指標単位
							回
	指標説明 (指標算出 方法等)	親子遊び・造形展・幼稚園開放・研修活動					
		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標値	4	2	2	2	2	
	実績値	4	2	2			
	達成度 (%)	100.0	100.0	100.0	-	-	
	目標値設定 の考え方	参加しやすい時期及び内容等を考慮し開催。					
資源配分 (インプット)		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	直接事業費 (千円)	30	20	50	80	85	
	幼稚園ウィーク講師謝礼	30	20	20	35	40	
	需用費(消耗品費)	0	0	30	45	45	
	財 源 (千円)						
	国						
	県						
	起債						
	その他						
	一般財源[A]	30	20	50	80	85	
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0	0	
	平均人件費(1日当り)	27.9	28.2	27.4	26.8	26.8	
	事業量1(事業に要した日数)						
	事業量2(事業に要した人数)						
年間経費([A]+[B])	30	20	50	80	85		
'目的'対象人数1人当り経費 (円)	75.0	50.0	125.0	200.0	212.5		
経費に関する 補足説明	平成22年度まで決算額。平成23～24年度は当初予算額。						

Check (事業の自己評価・一次評価)

	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
達成度	目標達成度	%	100.0	100.0	100.0	-	-
	(事業目標の達成度分析、問題点・課題などを記入。) 数年来、事業実施回数は、減少しているが、少ない回数で中身の濃い事業内容で実施しており、その目的は概ね達成されている。						自己評価 (5点評価)
							4
有効性	(住民満足度の分析、問題点・課題などを記入。) 幼稚園保護者は、比較的積極的に参加してくれるが、未就園児の保護者・一般住民への参加呼びかけを充実し、幼稚園教育内容の普及に努めたい。						自己評価 (5点評価)
効率性	事業単価	円	75.0	50.0	125.0	200.0	212.5
	(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 大きな目的があり、大きな事業にも関わらず、その予算については非常に少額であるが、より有意義な事業の展開が期待されている。						自己評価 (5点評価)
							4
必要性	公共性の高低	<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低			
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 幼児教育の必要性・家庭教育の重要性が見直されている現在にあって、保護者と地域と園が一体となって、みんなで子育てが出来るシステム作りをスタートさせるため、この事業の充実が望まれる。						自己評価 (5点評価)
							4
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 多様に変化する価値観や、安易にメディアに流される親が増加する中であって、手作りの温かさや、豊かな感性を育てるために大切な事柄など、具体的に考えたり、伝えることが急務であると考え。 子育てを放棄せず、親として子供の成長を楽しむことが出来るための支援が必要であると考え。 これからも幼児期の重要性和幼稚園教育の大切さを当事業の中で啓蒙していきたい。						<div data-bbox="826 1503 1394 2069" data-label="Figure"> <p>評価グラフ</p> </div>

Action & Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成24年度にできる改善・改革	平成25年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し
	幼児教育の必要性・家庭教育の重要性が見直されている現在にあって、保護者と地域と園が一体となって、みんなで子育てが出来るシステム作りを行う必要がある。	同左
(現状維持以外の場合)		
改善によって期待される効果	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	コスト面	コスト面
(現状維持の場合も記入)	仮に事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)	
中止・統廃合の影響		